

JENESYS2020 日 ASEAN オンライン交流 (スポーツ：サッカー) の記録

1. 概要

【目的】ASEAN 諸国のサッカー・ユースチームの選手が、日本の ASEAN サッカー界への貢献に関する講義、各国のサッカー及び文化についての交流プログラムに参加することにより、日本と参加国との親善促進、及び 2020 東京オリンピック・パラリンピック後の日本のスポーツ分野を通じた国際貢献のレガシー具現化を主目的に、本プログラムを実施しました。

【参加者】 ASEAN 諸国（10 か国）・日本の高校生、大学生 計 207 名（うち日本人は 5 名）
※ASEAN10 か国：インドネシア、カンボジア、シンガポール、タイ、フィリピン、ブルネイ、ベトナム、マレーシア、ミャンマー、ラオス

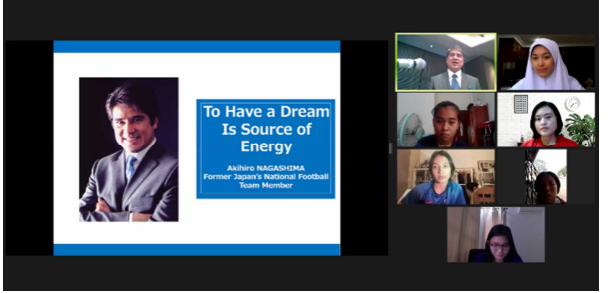
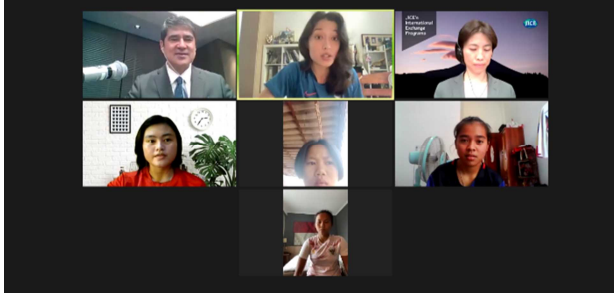
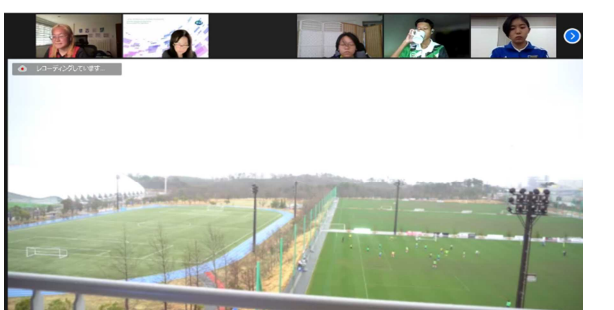
【訪問地】 東京都、福島県

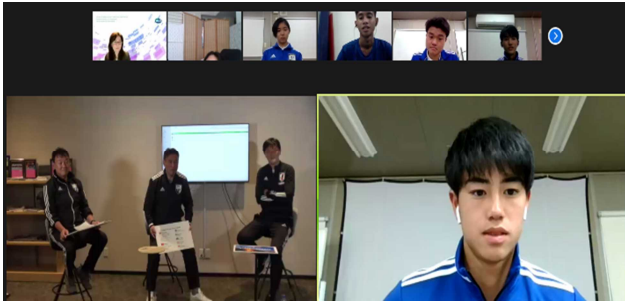
【日程】

日付 訪問地	内容	参加者の質問・反応
以下日程の参加者・参加人数：ASEAN7 か国の女子サッカー・ユースチームの選手 161 名 ※ASEAN7 か国：インドネシア、カンボジア、シンガポール、フィリピン、ブルネイ、マレーシア、ラオス		
2021 年 3 月 29 日 東京都	【ウェビナー・質疑応答】 「夢先生※による講義」 講師：公益財団法人日本サッカー協会 国際委員会委員 永島 昭浩氏 ※「夢先生」：JFA こころのプロジェクトの一環として 講師を務める様々な競技の現役選手/OB/OGのこと。本講義では、「夢を持つことや、その夢に向かって 努力することの大切さ」「仲間と協力することの大切さ」等を伝えている。	「サッカーをすることが辛く苦しい時にどんなことをモチベーションにしていたか」、「失敗した時にそれを乗り越えるおすすめの方法は何か」、「世界レベルで活躍した男性のサッカー選手として、どうしたら女子サッカーがもっと魅力的で人気のあるスポーツになるか」等の質問がありました。
2021 年 7 月 29 日 東京都	【交流】 1. 各国紹介プレゼンテーション 自国の文化、チームの練習方法等の発表 2. グループ別交流会	交流会は、各国混成で 5 つのグループに分かれて自由に意見交換を行いました。 「チーム内で流行っていること(人気の歌手等)」、「新型コロナウイルス感染症が蔓延している中での練習方法」、「学校生活への新型コロナウイルス感染症の影響」等、様々な話題で活発に意見交換を

		して友情を深めました。
以下日程の参加者・参加人数：ASEAN10 か国のサッカー・ユースチームの選手 41 名、日本人ユース・チームの選手 5 名		
2022 年 3 月 26 日 東京都 福島県	【交流・視察・ウェビナー・質疑応答】 1. オリエンテーション 2. グループ交流 3. プレゼンテーション「自国紹介」 4. 視察・質疑応答「J-ヴィレッジツアー」 ・東日本大震災とサッカー（ビデオ視聴） ・施設概要紹介 ・グラウンド・食堂等からの中継 5. 講義、パネルディスカッション「Football Dream for Future」 講師： ・公益財団法人日本サッカー協会 JFA 副技術委員長 小野 剛氏 ・公益財団法人日本サッカー協会 JFA ユース育成ダイレクター 影山 雅永氏 ・公益財団法人日本サッカー協会 U-19 日本代表コーチ 船越 優蔵氏 ● 動画視聴 ● 講演、パネルディスカッション ● 質疑応答	グループ交流では、初対面ということもあり遠慮している様子でした。しかし、最後には背番号や好きなチームの話で交流を楽しんでいました。 プレゼンテーションでは、それぞれ充実した内容が紹介されました。参加者は、他国のサッカー事情に興味をもって聞いていました。 J-ヴィレッジ施設内の見学ツアーでは、次々と紹介される設備やグラウンド等の様子に、参加者は終始興味深く聴講しており、「食堂はあるか」、「すべてのスポーツができるのか」、「有名選手は来たことがあるか」等の質問がありました。 講義で講師陣から、夢を持つことの大切さが語られ、参加者も各々自分の夢を回答しました。国の代表になりたい、プロサッカー選手になりたい、海外で活躍したいといった夢が挙がりました。サッカーや夢に関する各参加者からのコメントや講師陣のパネルディスカッションを通じて、サッカーから得られる価値や可能性について改めて考え、互いに刺激を受けた様子でした。サッカーという共通項をもった異なる国のユース同士も、楽しそうに交流している様子がみられました。

2. 記録写真

	
2021 年 3 月 29 日【ウェビナー・質疑応答】	2021 年 3 月 29 日【ウェビナー・質疑応答】
	
2021 年 7 月 29 日【各国紹介プレゼンテーション】日本チーム	2021 年 7 月 29 日【各国紹介プレゼンテーション】ラオスチーム
	
2021 年 7 月 29 日【交流会】	2021 年 7 月 29 日【交流会】
	
2022 年 3 月 26 日【プレゼンテーション】自国を発表する参加者	2022 年 3 月 26 日【視察】J-ヴィレッジの施設紹介の様子

	
2022 年 3 月 26 日【ウェビナー・質疑応答】夢を語る参加者	2022 年 3 月 26 日 記念撮影

3. 参加者の感想（抜粋）

◆ ラオス 参加高校生

オンライン交流では、他国の文化や考え方、スポーツのトレーニング方法についての理解を深めることができ、ためになりました。

◆ タイ 参加高校生

他国の選手たちと話す機会を持つことは素晴らしい経験でした。この交流によって、これから、他国の選手たちと親しくなり、より強い絆を築いていきたいと思います。

◆ タイ 参加高校生

他国の選手たちと語り合い、交流できる素晴らしい機会でした。プレゼンテーションはもっとインタラクティブな形でできると楽しくなると思います。

◆ シンガポール 参加高校生

オンライン交流で、日本サッカーやASEAN 諸国についてたくさん学ぶことができました。将来、どこかでプレイヤーとして活躍したい、夢を追いかけ、技術を向上したいと、この交流を通じていい刺激をもらいました。

◆ マレーシア 参加高校生

初めてこのような交流に参加しました。サッカーはプレーが全てではないと教わり、視野が広がりました。自国の代表であることに誇りを持ち、良いお手本になりたいです。

◆ 日本 参加高校生

今回のプログラムは今まで経験したことの無いものだったので、参加出来たことを嬉しく思っています。各国のチームの特徴などを知ることが出来ました。また参加したいと思っています。

4. 参加者の対外発信

	
2021 年 7 月 29 日 (Instagram) このような交流の機会に参加できて光栄です。	2021 年 7 月 29 日 (Facebook) 貴重な交流の機会をいただきありがとうございました。
	
2022 年 3 月 26 日 (Facebook) マーカス・アリアス選手、JENESYS 日 ASEAN 青少年スポーツ交流のフィリピン代表選出おめでとうございます。	2022 年 3 月 26 日 (Instagram) プログラムを開催いただいたマレーシアサッカー協会と公益財団法人日本サッカー協会に感謝いたします。マレーシアチームお疲れ様でした。

5. 参加者の今後のプラン

◆ ブルネイ 高校生

夢を追いかけ、ブルネイ代表として AFF (東南アジア女子サッカー選手権)、AFC (AFC チャンピオンリーグ) で優勝できるよう、これまで以上に練習に励みます。

◆ フィリピン 高校生

技術を向上し、さらに成長できるようサッカーを続けます。チームの仲間と一緒に毎日頑張ります。練習に励み、コーチの言うことをしっかり聞こうと思います。

◆ 日本 高校生

スポーツは世界を平和にできていると思うので、これから全力でプレーし、人の心を動かせるようにこれから努力していきたいです。

実施団体名：一般財団法人日本国際協力センター (JICE)